



●Human Centered Design Organization

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

人間中心設計推進機構 (HCD-Net)

入会のご案内

人間中心設計推進機構(通称:HCD-Net)は「人間中心設計」を効果的にシステムの開発に導入できるように、公の立場で研究、人材育成などの社会活動を行っていく NPO 特定非営利活動法人です。

人間中心設計すなわちユーザビリティの導入は、ユーザ要求を的確に導き、関連するプロジェクト間の本質的な部分を開発者が互いに共有できるような要求事項を取りまとめ、プロジェクトを通じて一貫してユーザの求める品質を確保することに大きな効果をもたらします。

これまで 20 年近いユーザインタフェースデザイン活動や、人間中心設計のプロセス規格である ISO13407 の制定、さらには昨今ではユニバーサルデザインやユビキタスコンピューティングなどの取組みが行われています。しかしその一方で、もっとも重要なユーザビリティを核とした「人間中心設計」の理解、導入が開発現場に浸透していないのが実情です。

こうした状況の中で、人間中心設計推進機構は ISO13407 の考え方をベースとした社会全体への啓蒙活動、一般のエンジニアやデザイナーに向けた更なる啓蒙や教育活動、また公共プロジェクトへの参画や資格認証システムの検討など、従来の学術的な活動の枠組みでは限界のあるテーマに挑んで参ります。

今後、皆さまとともに将来に向けた人間中心設計の潮流作りを進めて参りたく、ご案内申し上げます。

本機構の主旨にご関心をいただき、本機構への参加をお願いいたします。

特定非営利活動法人

人間中心設計推進機構

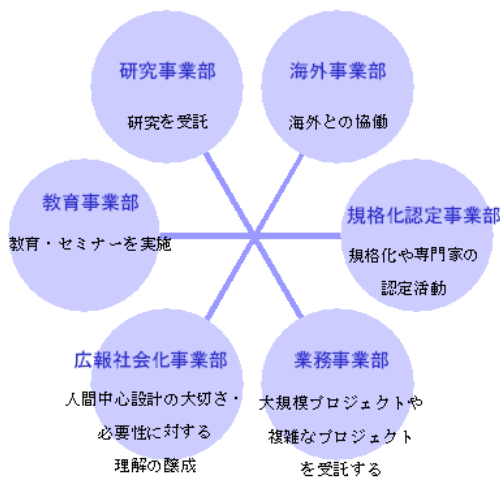
機構長 黒須正明

■ HCD-Net のめざす社会

人間中心設計推進機構は、Human Centered Design に関する学際的な知識と産学を超えた人間尊重の英知を結集し、「人間中心設計」の理念を基に、ユーザビリティ導入に関する様々な知識や方法を適切に提供することで、多くの人々が便利に快適に暮らせる社会づくりに貢献します。あわせて経済の発展に寄与していくことを図り、豊かなストレスのない実りある 21 世紀を実現していくよう取り組んで参ります。

■ HCD-Net の五つの活動領域

6 事業が連携して、HCD活動を推進



1. 人間中心設計に関する研究活動
 - ユーザビリティを探索する調査・研究事業の実施
2. 人間中心設計に関する教育活動
 - ユーザビリティノウハウに関する講演会、教育セミナー事業の実施
3. 人間中心設計の社会化活動
 - ユーザビリティを向上させる人間中心設計の普及・啓発事業
 - 行政や産業界に向けたフォーラム、シンポジウムの開催
 - 商品やサービスのユーザビリティに関するコンサルテーション事業
 - ユーザビリティの向上を考える人材のネットワーク形成事業
 - ユーザビリティ評価、ユーザ調査分析のためのモニターを組織する活動
 - ユーザビリティの良い商品を広く一般消費者に伝える広報・販売活動
 - 年間 Awards 審査、発表など
4. 人間中心設計の業務活動
 - 大規模なプロジェクトや複雑なプロジェクト業務の受託
 - 公共性の強い社会基盤システムのユーザビリティの検討、設計活動
 - ユーザビリティに優れた商品・サービスの設計・開発
 - デザイン、マネージメント能力を持った人材の育成事業
 - ユーザビリティに関する情報収集並びに情報提供事業
 - 全産業にわたる商品・サービスのユーザビリティを評価・分析する事業
5. 人間中心設計に関する規格化/ 認定活動
 - ユーザビリティの判定に有効な指標の規格化および認証事業
 - ユーザビリティ人材およびユーザビリティ商品等の認証活動
6. 人間中心設計における海外との連携活動
 - 海外への情報発信／海外向け広報／海外ユーザビリティ機関との連携活動／
 - 海外ビジネス・研究活動の支援／International Conference on HCD 2009 の開催

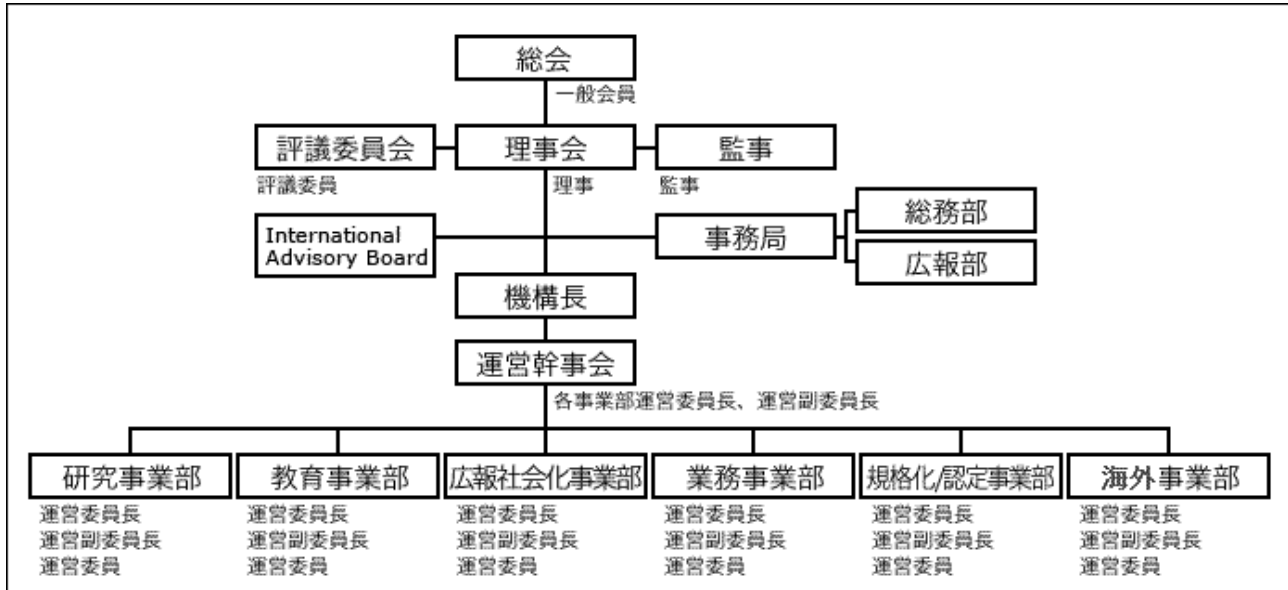


■ HCD-Net の参加者

HCD-Net には以下のような方々が会員、運営委員として参加しています。

- ・商品企画、製品設計、販売製造などの開発関係者
 - 特にユーザとの関わりを大切にしたいと考えている方
- ・SE、プログラマー
 - 特にユーザビリティの重要性を理解し開発に導入している方
- ・リクワイアメントエンジニア
- ・ユーザセンタードデザイナー
- ・UI デザイナー
- ・インタラクションデザイナー
- ・情報デザイナー
- ・テクニカルライター
- ・ユーザビリティエンジニア
- ・ユーザビリティ有識者
 - ヒューマンインタフェース学会や人間工学会、及びその研究会、もしくは日本デザイン学会
情報デザイン研究部会や日本認知科学会など様々な学術研究団体において、専門的かつ
研究的な取組みを実践している研究者、教育者など

■ HCD-Net の組織



■ 機構役員

機構長

黒須 正明 独立行政法人メディア教育開発センター 研究開発部 教授
 ※機構長:HCD-Net 事業執行ディレクター(理事会内規第 1 条第 1 項)

理事長・事務局長

鱗原 晴彦 株式会社 U'eyes Design 代表取締役

副理事長

平沢 尚毅 小樽商科大学 商学部 社会情報学科 准教授
 堀部 保弘 株式会社三菱総合研究所 ビジネスソリューション事業本部
 経営システムソリューション事業部 主席研究員
 山崎 和彦 千葉工業大学 工学部 デザイン科学科 教授

理事

伊藤 潤 ソニー株式会社 UI センター(兼)クリエイティブセンター
 シニアユーザビリティスペシャリスト
 小川 俊二 有限会社カイデザイン 取締役
 郷 健太郎 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 准教授
 高橋 賢一 株式会社ソフトデバイス 代表取締役
 早川 誠二 株式会社リコー 経営品質管理本部アプライアンス推進室 シニアマネジメント
 松原 幸行 キヤノン株式会社 総合デザインセンター
 アドバンス UI デザイン室 室長
 山岡 俊樹 和歌山大学 システム工学科 デザイン情報学科 教授
 八木 大彦 公立はこだて未来大学 名誉教授

監事

加藤 大三 東京工業大学 産学連携推進本部 産学連携推進 コーディネーター
 小林 正 富士通デザイン株式会社 テクノロジー・ソリューションデザイン部



事務局

斉藤 杏子	株式会社 U'eyes Design
松原 幸行	キャノン株式会社 総合デザインセンター(ウェブサイト担当)
北村 弥生	戸坂女子短期大学(ウェブサイト担当)
入江 哲	有限会社 MMS(ウェブサイト担当)
天野 利絵	HCD-Net 研究事業部・教育事業部 担当
小汀 宏	HCD-Net 広報社会科事業部・業務事業部 担当

■評議委員

伊藤 昌子	常磐大学
井上 雅之	セイコーエプソン株式会社
乾 明男	株式会社コネクテクトテクノロジーズ
今井 拓司	日経エレクトロニクス
植村 朋弘	多摩美術大学
岡田 明	大阪市立大学
岡本 明	筑波技術短期大学
岡本 誠	公立ほこだて未来大学
尾上 晏義	株式会社インターソフト
小畑 貢	株式会社ヒューマンインタフェース
葛西 秀昭	北海道日本電気ソフトウェア株式会社
梶井 浩	NTT アドバンステクノロジー株式会社
加藤 隆	関西大学
辛島 光彦	東海大学
北島 宗雄	独立行政法人産業技術総合研究所
北村 弥生	戸坂女子短期大学
甲 洋介	法政大学
櫛 勝彦	京都工芸繊維大学
小林 裕和	特許庁
篠原 稔和	ソシオメディア株式会社
柴田 哲史	UD-Consulting, Inc.
須長 剛司	多摩美術大学
関根 千佳	株式会社ユーディット
高橋 正明	テクニカルコミュニケーター協会
高本 康明	富士通株式会社
田丸 喜一郎	IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター
樽本 徹也	株式会社イード
寺沢 秀雄	公立ほこだて未来大学
戸崎 幹夫	富士ゼロックス株式会社
中村 和夫	株式会社フォーリンクシステムズ
蓮池 公威	富士ゼロックス株式会社
長谷川 敦士	株式会社コンセント
畑山 一郎	日産自動車株式会社
八谷 祥一	株式会社ガイア・システム・ソリューション
原田 悦子	法政大学社会学部
細田 彰一	昭和女子大学
細野 直恒	沖コンサルティングソリューションズ株式会社
堀野 定雄	神奈川大学
三樹 弘之	沖電気工業株式会社
溝渕 佐知	ノキア・ジャパン株式会社
宮坂 克己	有限会社ケアタック
宮本 裕之	富士ゼロックス株式会社
森 博彦	武蔵工業大学
森本 一成	京都工芸繊維大学
両角 清隆	東北工業大学
門田 浩	IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター
柳田 宏治	倉敷芸術科学大学



山崎 真湖人	アドビシステムズ株式会社
山本 敏雄	公立はこだて未来大学
横田 英夫	株式会社ノーバス
任 向実	高知工科大学
和井田 理科	日本ビクター株式会社
若松 正晴	三菱電機株式会社
渡辺 政嘉	経済産業省
(50 音順)	

■ HCD-Net 入会のお勧め

1. 当機構の活動を通じ、最先端のユーザビリティ情報の収集および活用ができます。
 - ・ユーザビリティスキルを体系立てて習得することができます。
 - ・ユーザビリティのビジネス導入ケースを学ぶ場が提供されます。
 - ・ユーザビリティ有識者との情報交換: オフサイトミーティングへ参加できます。
 - ・会員限定のセミナー、イベントへ参加できます。
 - ・定期機関紙ほか当機構の成果物を入手することができます。
2. 当機構の HCD 専門分野ディレクトリへ登録できます。
 - ・専門性を獲得した開発、研究、教育チームは各々の活動分野を当機構が定義する HCD 専門分野に申請登録することができます。
 - ・登録された専門分野を活用して公共ユーザビリティプロジェクトへ参画することができます。
 - ・登録された教育研究機関の教材を用いて企業内研修を実施することができます。この活動を通じ、より有効な人材育成と、教育プログラムのフィードバックが可能となります。
3. 当機構の諸活動には会員価格にて参加できます。

フォーラム、シンポジウムをはじめ、各種セミナーやイベントの参加費には会員価格が設定されており、非会員価格と比べて割安となっています。



■入会予約申し込みの方法

ホームページ参照の上、メールにて申込みいただくか、別紙の「HCD-Net 入会予約申込書」に必要事項をご記入の上、下記へ FAX か郵送にてお申し込みください。

●申し込み先

ホームページ: <http://www.hcdnet.org/>

郵送宛先: 人間中心設計推進機構事務局

〒150-0045

東京都渋谷区神泉町 9-5 フジタ・インゼックスビル 9F

株式会社ノーバス内

FAX: 03-5489-7472

問合せ先: HCD-Net 事務局アドレス secretariat@hcdnet.org

●会費および入会金

予約受付後、会費のお振込をお願いいたします

銀行振込先: 三菱東京 UFJ 銀行渋谷支店普通 3624573

口座名義: 特定非営利活動法人人間中心設計推進機構

※ご入金を確認しましたら事務局よりご連絡差し上げます

●会員種別

次の3種類の資格があります。

1. 正会員

個人の資格でご入会いただくものです。どなたでも入会できます。

入会金 なし(初年度のみ)

年会費 ¥12,000. -

2. 学生会員

有効な学生証の提出をもって、学生会員としての資格を有します。

入会金 不要

年会費 ¥4,000. -

3. 賛助会員

当機構の趣旨に賛同される企業、団体および個人としてご入会いただくものです。HCD-Netの各事業活動に関し、所属メンバー2名まで参加いただくことができます。

入会金 不要

年会費 ¥80,000. -



入会予約申込書

申込日 年 月 日

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構に入会いたします。

●会員種別

正会員 学生会員

●会員情報

ふりがな

氏名

〈所属〉

会社名/学校名

部署名

役職

住所 〒

電話

ファックス

〈自宅〉

住所 〒

電話

ファックス

〈連絡先/郵送先〉

自宅

勤務先/所属先

E-mail

〈紹介者〉

いる

いない

紹介者氏名

所属

●お仕事の内容/専門分野

●関心のある HCD-Net の活動領域（複数回答可）

研究活動

教育活動

社会化活動

業務活動

規格化/認定活動

※お答えいただいた内容は機構内部のみ使用し、外部には漏洩することは一切ありません。

●お問合せ先

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構 事務局

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9-5 フジタ・インゼックスビル9F

Phone: 03-6277-5415 (平日10時より17時) FAX: 03-5489-7472

http://www.hcdnet.org E-mail: secretariat@hcdnet.org



賛助会員入会予約申込書

申込日 年 月 日

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構に入会いたします。

●会員情報

〈企業／団体名または個人名〉

ふりがな

住所

〒

〈参加会員名〉（2名まで）

ふりがな

氏名

所属部署名

役職

電話

ファックス

E-mail

ふりがな

氏名

所属部署名

役職

電話

ファックス

E-mail

●お仕事の内容／専門分野

●関心のある HCD-Net の活動領域（複数回答可）

研究活動

教育活動

社会化活動

業務活動

規格化／認定活動

※お答えいただいた内容は機構内部のみ使用し、外部には漏洩することは一切ありません。

●お問合せ先

特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構 事務局

〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9-5 フジタ・インゼックスビル9F

Phone : 03-6277-5415 (平日10時より17時) FAX : 03-5489-7472

http://www.hcdnet.org E-mail : secretariat@hcdnet.org

2006年3月23日